「地球内部科学は、マントルから核までの地球内部の物理・化学的性質、形成進化を単一のデイシプリン（学問分野）ではなく地球科学の複数のデイシプリンの融合的・学際的な研究によって推進することを目的とする。したがって、地球深部研究（ＳＥＤＩ）とともにスラブの沈み込のダイナミクス、地球、その層構造の形成過程などの学際的な研究も含まれる。また、国際的なSEDI (Study of Earth Deep Interior)の活動、AGUのSEDI, MRP (Mineral and Rock Physics)の各Focus Groupなど関連する学際的な分野との共同・協力をＪＰＧＵとして支援することを可能にする。」

＊＊＊＊

固体地球セクションに「地球内部科学小委員会」Focus Group of Science of Earth's Interior

地球内部科学小委員会のスコープ：

　地球内部科学は、マントルから核までの地球内部の物理・化学的性質、形成進化を地球科学の複数のデイシプリンの融合的・学際的な研究によって推進することを目的とする。したがって、地球深部研究（ＳＥＤＩ）とともにスラブの沈み込のダイナミクス、地球の形成進化過程などについての学際的な研究も含まれる。また、国際的なSEDI (Study of Earth Deep Interior)の活動、AGUのSEDI, MRP (Rock and Mineral Physics)の各Focus Groupなど関連する学際的な分野との共同・協力をＪＰＧＵとして支援することを可能にする。

設置の形態：セクションの内部の構造として設置する。

・委員長、副委員長、幹事をおく

・小委員会への参加メンバー：日本地球惑星科学連合のメンバーまたは、交流協定（ＡＧＵ，ＥＧＵ，ＡＯＧＳ）をもつ学会組織のメンバーとする。なお、必要に応じて上記以外の者も委員長の承認により参加可能であるが、参加を通じて日本地球惑星科学への入会を促す。

・他の小委員会に参加することを妨げない。

・設置の期間：2年間とする。必要に応じて継続する。継続の際には再度提案する。

小委員会の活動は2013年10月

設置の目的：

・複数の分野にまたがる学際的・融合的な地球内部研究を推進し、その成果を海外に発信するとともにＳＥＤＩなどの国際的な地球内部研究を推進する。

・2014年8月のＳＥＤＩ国際会議などの地球内部科学の国際的な集会の準備と取りまとめを連合として支援する。

・小委員会は学際的な地球内部科学の連合大会での地球内部科学のセッション提案を積極的に行い、ＪＰＧＵのジャーナルへの論文投稿を促進する。

・同様のスコープをもつ各国の学会組織等との国際共同を推進する。

＊＊＊＊(2013/11/15修正)